

## なにより、いのち最優先の政治に

### 自公政治終わらせ、希望ある新しい日本へ4つのチェンジ

- 弱肉強食、自己責任を押し付ける
- ①「新自由主義」を終わらせ、いのちと暮らしを大切に
- ◇医療・介護・保育などケアを支える政治に
    - 高齢者の医療費負担増の中止 ●病床の削減計画の白紙撤回 ●医療・介護・保育などのケア労働者の待遇改善
  - ◇人間らしく働けるルールを
    - 8時間働けば普通に暮らせる社会に ●非正規社員を正社員に ●中小企業を支援し、最低賃金時給1500円 ●長時間労働をなくす
  - ◇税金の不公平をただす
    - 大企業と富裕層に応分の負担を求め ●消費税を5%に減税
  - ◇お金の心配なく、学び、子育てできる社会
    - 学費は半額 ●入学制度をなくす ●返済不要の奨学金の拡充 ●子育て、教育の負担軽減

#### 不公平税制見直せば財源確保できる

大企業優遇税制、法人税の見直しで約8兆円、富裕層への税負担で約3兆円、富裕税の創設で約3兆円、軍事費、大型開発の削減で約5兆円。

- ②気候危機を打開し、自然と共生する社会を
- 気候危機打開の「2030戦略」—30年度までにCO<sub>2</sub>を最大60%の削減(10年度比)を省エネと再エネでめざします。これは雇用を年間254万人増やし、GDP205兆円増やし、持続可能な経済に道を開きます。
- ③ジェンダー平等の日本へ
- 選択的夫婦別姓の実現、同性婚を認める法改正、性暴力の根絶などを実現します。男女の賃金格差をなくし、ジェンダー平等の社会の土台を築きます。
- ④憲法を生かした平和外交を
- 米国いなりから脱却、辺野古新基地建設中止、核兵器禁止条約に参加、中国の人権侵害、覇権主義を許さず、平和的手段で問題を解決します。

#### 略歴

1956年久米郡美咲町生まれ。県立和気開谷高校、ノートルダム清心女子大学文学部卒業。新日本婦人の会岡山県本部副会長、岡山民報編集長などを歴任。現在：党県委員、3区国政対策委員長。

●コロナ対策に全力あげます  
ワクチン迅速接種と一体に大規模なPCR検査の実施 ●原則自宅療養方法方針の撤回、臨時の医療施設の大増設 ●医療機関の減収補填、困った人への保障



# 尾崎ひろ子

日本共産党

自民・公明政権は、コロナ対応まで自己責任を押し付け、感染爆発と医療崩壊を引き起こしました。桜「モリカケ」などの政治の私物化、学術会議の人事介入などの強権政治も極まっています。行き詰った自民党政治の枠内の政権のたらい回しでは政治は変わりません。自民・公明政権に国民の審判を下し、政権交代を実現するのが、この総選挙です。日本共産党の私は、「なによりいのち」「市民と野党の共闘」を押しすすめてまいります。この日本共産党が伸びてこそ、希望ある新しい政治をつくれることができます。

比例代表は **日本共産党** とお書きください

日本共産党 検索 <http://www.jcp.or.jp>

1枚目の投票用紙に  
**あべ俊子**  
とお書きください。



自民党公認・小選挙区で勝利!

## あべ俊子のお約束

- こども、若者が希望の持てる社会保障の強化
- 中山間地域の産業・医療・環境・農業
- 外交・安全保障政策の強化

いのち・くらし、いちばん!

## 聴いて、実行する!

国民のいのち、くらしを守るため、一生懸命に汗を流している方々が報われる社会をつくるのが、私の使命との思いで走り続けてきました。

作州・東備の皆さまの暮らしに、政策でお役に立てるよう全力で走り続けます!

あべ俊子



# あべ俊子

自民党公認  
岡山3区

- プロフィール
- 元外務副大臣
  - 元農林水産副大臣
  - 元衆議院外務委員長
  - 元自民党国体副委員長
  - 元日本看護協会副会長
  - 元東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科准教授
  - 衆議院議員5期目

あべ俊子津山選挙事務所 〒708-0841 津山市川崎214-1 TEL: 0868-35-3522 FAX: 0868-35-3523

# 令和3年10月31日(日)

## 衆議院小選挙区選出議員選挙投票日

## 衆議院比例代表選出議員選挙投票日

## 最高裁判所裁判官国民審査



令和3年  
10月31日執行

# 衆議院小選挙区選出議員選挙公報(岡山県第3区)

岡山県選挙  
管理委員会

## たしかな日本を子や孫へ

## 支え合う社会へ

立憲民主党

岡山県第3区総支部

森本 栄の決意

新型コロナウイルス  
感染症の教訓から

世界はコロナ感染症という未曾有の危機に見舞われています。日本社会の課題として「支え合い」の社会づくりの重要性があらかになりました。私は立憲民主党の政策をもとに、4つの重点課題に取り組み、たしかな日本を子や孫に引き継いでまいります。

1. アメリカ型の効率化一辺倒の考えを改めていきます。コロナ禍で保健所機能が破たんするなど、小さな政府が中央・地方でもたらした弊害を改めていきます。
2. コロナ禍で格差社会が浮き彫りとなりました。一人ひとりの生活や仕事、なによりも一人ひとり尊厳が保障される社会づくりをめざします。
3. 持続可能な地域社会づくりへ、東京一極集中を是正し、少子高齢化による人口減少対策に取り組んでまいります。
4. 疲弊していく地方に在って、農林水産業の再構築が必要です。このため「戸別所得補償制度」の復活をはかっていきます。

森本栄選挙事務所 住所:津山市一方228-4 守屋ビル 1F  
TEL:0868-32-8883 FAX:0868-32-8884

## 分配なくして成長なし

## 変えよう政治 立憲民主党の主な政策

- 立憲主義を基本理念に  
平和憲法を守り、暮らしや政治に活かしていきます。
- 新型コロナウイルスの対策へ司令塔の設置を  
感染症の防止対策へ総理直轄の司令塔を設置し、感染症の防止、事業・生活支援へ少なくとも30兆円規模の補正予算成立を。
- 分配なくして成長なし  
時限的な消費税減税を行う。年収1,000万以下の所得税免除と低所得者への給付金支給、雇用の安定と賃金の底上げなど。
- 子ども子育て政策の強化、若者の未来づくり  
子ども・子育て予算を倍増し、将来的には「子ども省」の創設をめざすなど。若者支援へ国立大学授業料を半額に。私立大学生、専門学校生への給付型奨学金の拡充、ヤングケアラーの早期発見と支援体制など。
- ジェンダー平等の実現、女性政策の充実  
不妊治療の保険適用推進、DV対策や性的暴力被害支援、選択的夫婦別姓制度の早期実現など。
- 自然エネルギー立国の実現  
自然エネルギー電力を2030年に50%、2050年に100%を目指す。省エネ機器の普及、住宅の断熱化推進の補助制度の創設など。
- 地域を守り地域を活かす  
農業者戸別所得制度の復活、木材の安定供給と国産材の利用促進、漁業収入安定対策の充実など

←個人演説会情報など  
政策発信中→



私のあゆみ

- 真庭市生まれ
- 落合町立立誠中学校、県立落合高等学校、関西大学法学部卒業
- 落合町役場、連合岡山会長、自治労岡山県本部執行委員長、全労済岡山県本部理事長を歴任
- 趣味は登山、ハーモニカ演奏、地下(じげ)芝居。関西大学山岳部時代には冒険家・故植村直己氏とも交友。1972年北米マッキンリー(デナリー)に登頂

もり

もと

さかえ

## 平沼 正二郎 10の公約

- 新型コロナウイルス対策 影響が多く出ている地方経済の衰退を防ぐためにも、中小企業を対象とした継続的な雇用助成金対策および法人税・消費税の軽減などを推進します。
- 少子化対策 国の力は人です。子育て世代への支援策(教育無償化や負担軽減、税制見直し)を積極的に進めます。また、女性が子育てしながらも働きやすい環境の整備、さらに結婚率低下の根本原因の一つである非正規雇用の増加抑制にも取り組みます。
- 地方創生 日本経済の復活は地方が握っています。大都市圏優遇政策からの転換を進めます。また、中山間地域の対策に全力で取り組みます。
- 国土強靱化 将来必ず起こるであろう南海トラフ地震や大災害に対応するため、国土強靱化を積極的に推進します。道路などのインフラの強化と河川などの改修を進め、強靱化と同時に積極的な財政出動による地方経済対策も行います。
- 選挙制度改革 積極的な政治参加を推進するため選挙制度の改革に取り組みます。小選挙区比例代表並立制の見直しや、ITやメディアを活用した政治活動や投票方法変更を推進します。よりコストのかからない政治体質と選挙方法、また定数削減を含む政治体制の改革に取り組みます。
- 保守本流 安全、安心な生活(衣・食・住)を守るため、国益を損なうような法改正・制度改正には断固反対します。また近隣諸国からの不当な圧力や侵襲に関しては毅然と対応し、しかるべき措置を検討します。スパイ防止法の成立、対外情報機関の設立を目指します。
- 憲法改正 国の平和を守るために、憲法9条に自衛隊の存在と役割を明記することや緊急事態条項を加えるなど、日本の平和と安全を守る憲法改正を進めます。
- 伝統・文化 世界に誇る日本の伝統や文化、そして技術を守ります。次の世代に日本の伝統・文化を伝えられる基盤整備に取り組みます。
- 教育 教育は未来への投資です。学力向上だけにとらわれない、教育の質の向上に取り組みます。
- IT国家戦略 すでにIT先進国となってしまっている日本のIT戦略を国家主導で進めていきます。IT特区の推進や5Gを活用したビジネスモデルの創出に着手します。

# 変えよう日本の政治

地方の衰退は日に日に進んでおります。米価格の下落、放棄地の増加、空き家の増加、新規就農者の減少、山林の荒れ、治水能力の低下、鳥獣被害、災害リスクの増加、公共事業の減少、働き方改革の弊害、中小企業の事業継承問題、そして新型コロナウイルスによる地方経済への大きな影響。今後アフターコロナと呼ばれる時代に向かって、早急に今後の対策を実行する必要があります。

スピーディーな対応と、地方や地域の事を考える政治家が今こそ必要です。

私、平沼正二郎は4年間の間、地域を歩かせていただき皆様方の声を伺ってまいりました。いまこそ日本の政治を変える時です。

前回の衆議院議員選挙の投票率は約54%です。約半数の方が投票していません。

あなたの一票には地域の未来を変える力があります。日本の未来を、将来世代の未来を形づくる力があります。

岡山生まれ、岡山育ち、41歳 平沼正二郎  
郷土の為、日本の為に頑張りますので何卒よろしく  
お願いいたします。



平沼 正二郎 岡山生まれ

プロフィール《略歴》

昭和54年(1979)11月11日生  
平沼起夫・眞佐子の二男  
家族：妻・子(1男1女)

- ・岡山市立伊島小学校 卒業
- ・岡山市立京山中学校 卒業
- ・岡山県立岡山一宮高校 卒業
- ・学習院大学 経済学部 卒業
- ・平成14~18年 ソニーマーケティング(株) 勤務
- ・平成18年 リポート(株) 設立

平沼 正二郎  
ひらぬま しょうじろう  
[41才]

## 投票方法

小選挙区選挙  
(薄い水色の投票用紙)

候補者名を記入

比例代表選挙  
(ピンク色の投票用紙)

政党等の名称を記入

国民審査  
(薄い緑色の投票用紙)

罷免を可とする裁判官の  
氏名の上の欄に×を記入

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。

(画面を1ページご覧ください。)